

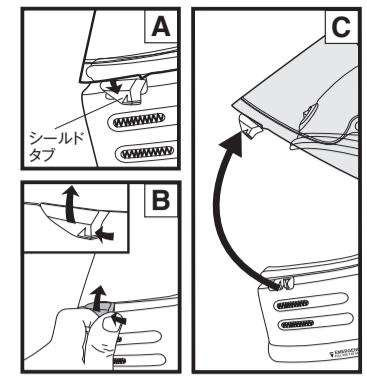


CPB-1V シールド

シールドを完全に下ろすと、シールドタブがフックに掛かります。走行時は、この位置にすることをお推奨します(図A)。

■シールドの開け方

シールドを開けるには、シールドタブに刻まれている矢印の方向にシールドタブを押して(図B)から、シールドを開けます(図C)。

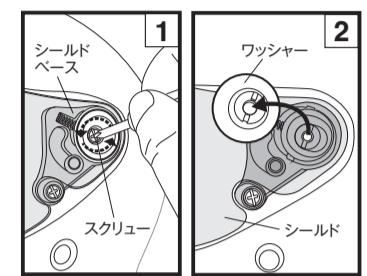


■警告

シールドロックは、下から真上にシールドタブが押し上げられないよう設計されています。そのため、シールドタブが無理り真上に押し上げられてしまった場合、窓ゴムにシールドや防霧シートが強く擦れで傷が付くことがあります。

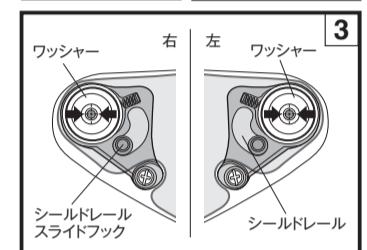
■シールドの取り外し方

1. シールドを完全に閉じます。
2. シールドベース上のスクリューを、ビットサイズ「No.2」のプラスドライバーで外し、ワッシャーと一緒にシールドベースから外します(図1、図2)。(ビットサイズ「No.2」のプラスドライバー以外にも以下のコインが使用できます。日本: 1円、5円、10円、50円、100円 /ヨーロッパ: 1セント、2セント、5セント /アメリカ: 1セント、10セント、25セント)
3. 反対側も同じ要領で取り外します。



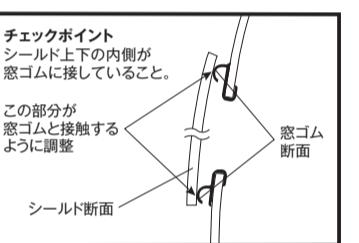
■警告

1. プラスドライバーやコインを使用しビスに対して垂直に当て、ていねいに回してください。(指定のコインについては「シールドの取り外し方」をご参照ください。)
2. コインの大きさによってはワッシャーに当たり傷が付くことがあります。
3. 指定のコインでビスを回しても、コインの大きさによってはビスに傷がつことがあります。また、プラスドライバーやビスを回した際も、場合によってはビスに傷がつことがあります。
4. コインでビスを回す場合、ビスにコインの汚れが付着することがあります。汚れが付着した際は、布等でふき取ってください。



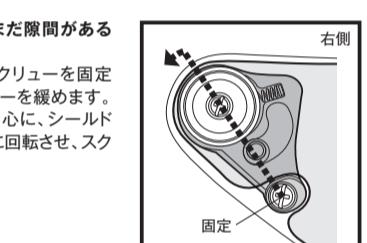
CPB-1V シールドの調整方法

シールドまたはシールドベースを交換した際、シールドが窓ゴムに接触していない、または閉まらない場合には、以下の方法でシールドベースの位置を調整してください。Glamsterはシールドを取り付けたままシールドベースの位置を調整します。

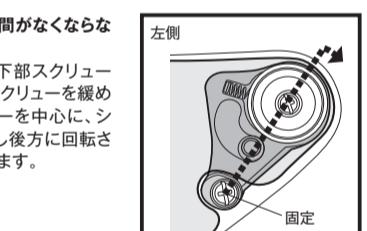


■シールドと窓ゴムとの間に隙間がある場合:

1. 左右2ヵ所ずつ(計4ヵ所)のスクリューを、シールドベースが動く程度に緩めます。



2. シールドベース下部の孔を、下部スクリュー孔の上下左右の中心に合わせ、スクリューを締め付けます。



3. 次に、シールドベース上の孔、上部スクリュー孔の左右の中心に合わせます。



- そしてシールドとワッシャーをはめ、シールドと窓ゴムの密着具合を確認しながらスクリューを締め付けます。右側も左側も同じように締め付けます。



CPB-1V シールドの取り扱いに関するご注意

1. ご使用前に、左右のシールドベース取り付けスクリューがしっかりと締まっていることを確認してください。スクリューは定期的に確認し、緩んでいるときは締め直してください。
2. シールドの汚れや傷は走行中の視界の妨げとなり、大変危険です。シールドが汚れたり傷が付いたりしたら、直ちに使用を中止し、取り外して洗浄するか、交換してください。
3. シールドは、水で濡れた性の洗剤で洗い、真水でよくすすぐしてから柔らかい布でふき取り、乾かしてください。 40°C を超える湯・塩水・酸性物質またはアルカリ性の洗剤・ベンジン・シンナー・ガリソン・その他の有機溶剤・ガラスクリーナー等、有機溶剤を含むクリーナー類は使用しないでください。これらが付着すると、シールドが劣化し、安全性に支障をきたす可能性があります。
4. シールドが曇った状態で走行しないでください。視界が妨げられ大変危険です。シールドを開けてヘルメット内をよく換気し、シールドの曇りを取り除いてください。また、防霧シートの使用も、シールドの曇り防止に効果的です。
5. 防霧シートをご使用の場合は、必ず純正のSHOEI DRYLENS / PINLOCK® EVO lensをご使用ください。取り扱い方法については、防霧シートに同梱されている取扱説明書をご覧ください。
6. シールドは、保護フィルムをはがして使用してください。
7. シールドベースをクリーニングしたり、あるいはシールドベースを交換した場合、シールドを閉めてシールドと窓ゴムの密着を確認してください。隙間がある場合、風の巻き込みや風切り音の原因となるため、シールドが窓ゴムに密着するようシールドベースの位置を調整してください。

